

会議記録

名 称	令和5年度第1回鹿沼市地域公共交通活性化協議会
日 時	令和5年5月22日(月) 10時00分～11時00分
場 所	鹿沼市役所 行政棟3階 特別会議室
出席者	<p>委員：佐藤信、福田浩士、小矢島応行、鉢村敏雄、塩田和也、原田篤(山下)、保坂正人、飯塚英樹、塩田勉(大森)、黒後悟、齋藤裕嗣、大橋秀吉、石嶋幸夫、藤田義昭、上野直人(平岡)、横尾元央(遠藤、小林)、柴田誠</p> <p>【計17名】過半数22名を超えるため協議会成立</p> <p>当日代理出席：県交通政策課 横尾委員代理(小林、遠藤)</p> <p>※( )は代理出席</p> <p>事務局：佐藤生活課長、山本補佐、廣田主任主事、永吉主事(受付のみ)</p>
内容及び結果等	<p>○開会(佐藤課長)</p> <p>○あいさつ(佐藤会長：市長)</p> <p>○委員紹介(席次表の小矢島委員から順に出席者全員が自己紹介)</p> <p>○報告(進行：佐藤会長)</p> <p>1 令和4年度事業報告について →質疑なし</p> <p>2 令和4年度決算報告について →質疑なし</p> <p>○協議</p> <p>1 令和5年度事業計画(案)について <b>承認</b></p> <p>① 県交通政策課 横尾委員 質問 (代理 遠藤)</p> <p>「資料 P.4(1)リーバス等路線再編に関して、まちなかに関する部分がないが、具体的な路線の再編内容はどのようになるのか。」</p> <p>⇒(事務局 回答)</p> <p>「今年度については、まず南摩、栗野について検討させていただき、今後、数年をかけて、まちなか部分について検討していきたい。南摩、栗野についての具体的なルートや路線の見直し詳細については、このあと協議事項4の中でご説明させていただく。」</p> <p>② 社会福祉協議会 齋藤委員 質問</p> <p>「資料 P.4(2)R3年度協賛企業との契約更新 とあるが、契約は2年更新なのか。」</p> <p>⇒(事務局 回答)</p> <p>記載間違いであり、契約は単年度(1年)のため、「R4年度」に訂正をお願いします。</p> <p>2 令和5年度予算(案)について →質疑なし <b>承認</b></p> <p>3 「生活交通確保維持改善計画」(案)の策定について <b>承認</b></p> <p>① 関東運輸局 上野委員 質問</p> <p>「事務局から説明があったが、本協議会では計画を策定するという内容だけの審議となるのか。国への提出が6月30日までかと思うが、間に合うのか。」</p> <p>⇒(事務局 回答)</p> <p>その通りとなる。本日時点で、国からのR5単価や様式が来ていないた</p>

め、届いた時点で急ぎ資料を作成し、委員の皆様へ書面議決の資料を郵送させていただきます、6月30日に間に合うように手続きを進めたい。」

**4 リーバス等路線再編〈令和6年4月運行開始予定〉案について** 承認

**① 鹿沼市議会 藤田委員 質問**

「デマンド化は今後増加していくと思われるが、AI デマンドの導入については、どのように考えているのか？」

⇒ (事務局 回答)

必要性は感じているが、まずは経営状況の改善が先決と考える。

AI デマンドは、地域により向き不向きはあると思うが今後の課題として認識している。

**② 関東運輸局 上野委員 質問**

「デマンド、予約バスの運行は、こういった方式なのか。」

⇒ (事務局 回答)

予約バスの概要としては市内4地区で、11人乗り、13人乗りのハイエースで、合同タクシー様、ヘイタク様が運行している。また、今回の見直しに係る南摩線は、既存の予約バスの運行エリアを広げるようなイメージで対応する予定。上粕尾山の神線、入粟野上五月線は、既存の予約バス運行事業者に該当エリアを新たに追加して、対応いただく予定。

**5 リーバス運転免許センター線 時刻変更(案)について** →質疑なし 承認

**(その他)**

**① タクシー協会 鉢村委員 情報提供**

「ご出席の皆様もご存じかもしれないが、タクシー業界はコロナ禍からの回復傾向により、約90パーセント程度は客足が戻っている。日光などの観光地では外国人旅行者のインバウンドの影響から、客足は150パーセント程度のところもある。しかしタクシードライバーの不足は全国的に問題であり、2017年30万人いたドライバーは、2023年22万人に減少している。県内でもドライバーの減少は続いており、2017年の2,200人が、2023年には1,700人となった。5年間で500人程度減少したことになる。タクシー運賃は4月17日付で関東運輸局に値上げの申請を行っており、申請が認められれば秋口から12月頃には運賃改定を行いたいと考えている。ご利用の皆様にも、燃料費高騰、物価高、労働条件の改善のためご理解いただければと考えている。」

⇒ (藤田委員)

バスやトラックドライバーなどの不足も話を聞くが、実情はどうか。

⇒ (鉢村委員)

私は以前に国交省にいたが、国内では若者が自動車、バイク等に興味を持たなくなっている実情がある。それが整備士不足やドライバー不足につながっている可能性もある。以前からドライバーは就職先としては長時間労働のため敬遠される傾向があるが、運転手の確保のためには残業

	<p>時間を減らす必要がある。また、最新のタクシー運転手の平均年収は全国平均 367 万円、栃木県 347 万円程度であるが、昨年までは 300 万円程度である。コロナからの回復傾向はあるが、歩合制の給与形態のため乗ってくれないと給与に反映されない。コロナにより東京のドライバー数が減少したため、現在は埼玉、千葉、神奈川から東京に運転手の移動が起きている。</p> <p>⇒ (バス協会 小矢島委員)</p> <p>労働条件の改善のためには 3 人で運行している路線を、休憩時間の確保のため 4 人必要となる。ドライバー確保の方策としては、2 種免許を取得する為に、通算 3 年間以上の運転経験 (21 歳以上) が必要となっている取得条件を、特例講習を受けることで 1 年とする方法が検討されている。他にも、高校訪問による高校生への呼びかけや、「働きやすい職場認証制度」への登録による周知、外国人材の活用も検討されている。外国人材の活用への課題としては、外国人材を活用することのできる「12 の特定業種」にドライバーを追加するかどうかや、現在の 2 種免許は日本語試験のみのため外国語への対応などがある。タクシーなどがすぐには難しい場合には、企業バスやスクールバスなどの活用から検討することになるかもしれない。</p>		
	○閉会 (佐藤課長)		
配布資料	① 事前送付：協議会資料 (ホチキス止め 1 部) ② 当日配布資料：出欠入り名簿、席次表、R 4 リーバス実績		
次回予定	令和 5 年 8 月 23 日(水)10:00～		
記録者	廣田		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数 1 人

¥¥05fileserver¥R5 年度¥12 市民部¥03 生活課¥02 交通政策係¥業務¥C02 公共交通政策¥03 地域公共交通活性化協議会¥03 会議¥01\_協議会¥第 1 回 (R5.5.22) ¥05\_会議録